

平成23年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

障がい福祉課（内線：7889）

12目 障がい者自立支援事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取発！農福連携モデル事業	(46,336) 4,657	(45,201) 3,861	(1,135) 796			(41,679)	(4,657) 4,657	
トータルコスト	13,444千円（前年度 11,929千円）[正職員：1.1人]							
主な業務内容	連絡調整、広報活動、制度設計、作業掘り起こし 等							
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明 ※上段（ ）内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

1 事業の目的・概要

障がい者の新たな就労の場として、農業・林業・水産業分野への就労を促進するため、実践モデル事業を通じて、就労系障がい者福祉施設における就労事業としての受委託システムの体系を検討するとともに、収益事業としての農業生産活動の促進と、将来的には農業・林業・水産業分野への一般就労を期待し、連携を推進する。

2 主な事業内容

(1) 実践モデル事業

①農福連携実践モデル事業

目的	就労系障がい者福祉施設等を利用する障がい者が様々な農作業・林業作業を体験する実践モデル事業を実施して、障がい者が作業を行うために必要な工程分析を行い、効率的な作業体系、指導方法を検証し、障がい者が受託可能な農作業・林業作業のリストアップと支援体制の確立を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業所のニーズ把握 ・障がい者が有償ボランティア等の支援を受けながら様々な農作業を体験する機会を提供 ・コーディネーター2名、事務補助員1名の配置 ・協力農家等への謝金支払 ・農業関係者等を対象とした研修 ・個々の実践モデルの検証を通じたマッチング体制の検討
予算額	(41,679千円)
財 源	ふるさと雇用再生特別交付金 10/10

※ 3圏域に設置されている障がい者就労支援プロジェクトチームが実施する。

②水福連携実践モデル事業

目的	就労系障がい者福祉施設等を利用する障がい者が水産関係の作業を体験する実践モデル事業を実施して、障がい者が作業を行うために必要な工程分析を行い、水産業における作業受委託の可能性を検討する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の掘り起こし等 ・作業希望施設等の調整 ・コーディネート、謝金支払い 等
予算額	280千円
財 源	一般財源

※ 水産課及び障がい福祉課が実施する。

(2) 有償ボランティア制度

目的	障がい者の農業分野・林業分野での施設外就労を促進するため、作業支援を行う「有償ボランティア制度」を実施。
内容	施設外就労を行うために、有償ボランティアを雇用した障害福祉サービス事業所に対し、助成金を交付
予算額	2,160千円
財 源	一般財源

(3) 研修事業

内容	・障がい者の農業分野・林業分野での職域拡大を念頭に、障がい者就労支援プロジェクトチームにより、圏域独自のニーズに応じた研修・実習を実施する。
予算額	2,217千円
財 源	一般財源

3 これまでの取組状況、改善点

平成22年12月末までに実践モデル事業に参加した事業所等は28。80件の作業を完了し、延べ2,976人の障がい者が作業にあたった。23年度は農業に加え、林業、水産業についても連携した取組みを推進する。